

平成 30 年度 富山市男女共同参画推進審議会 議事録

日 時 平成 30 年 8 月 22 日 (水) 10 : 00 ~ 11 : 30

場 所 富山市役所議会棟 8 階 第 4 委員会室

出席者 会 長 種 部 恭 子 女性クリニック We ! TOYAMA 院長
副会長 大工原 ちなみ 富山大学人文学部 教授
杉 森 藤 治 富山市自治振興連絡協議会 副会長
仲 嶺 智 昭 連合富山・富山地域協議会 事務局長
舟 根 之 通 富山市男女共同参画推進地域リーダー連絡協議会 会長
本 田 敏 也 富山市小学校長会 会長
水 家 正 一 富山人権擁護委員協議会 事務局長
岡 本 真佐之 富山地方法務局人権擁護課 課長
辺 田 幸 子 富山労働局雇用環境・均等室 室長
山 本 正 恵 富山県女性相談センター 所長
清 田 若 子 公募委員

(欠席者) 東 博 幸 弁護士

(〃) 近 藤 裕 世 富山商工会議所女性会 会長

事務局 市 民 生 活 部 中田部長、蔵堀次長
男女参画・市民協働課 広瀬課長、岡田主幹、薄島係長、酒井
男女共同参画推進センター 早野所長

関係課 商 業 労 政 課 古西課長
こ ども 支 援 課 開澤課長代理
こ ども 福 祉 課 熊本課長
こ ども 育 成 健 康 課 中田課長

内 容 :

1. 開会 (司会進行 : 岡田主幹)

2. 部長あいさつ (中田市民生活部長)

3. 委員等紹介

4. 会長・副会長選出

会長に種部委員、副会長に大工原委員を選出。

5. 会長あいさつ (種部会長)

6. 議事

(1) 「富山市男女共同参画白書（平成 30 年版）」について

資料に基づき、内容説明（薄島係長）

資 料：富山市男女共同参画白書＜平成 30 年版 富山市の男女共同参画＞

説明事項：“男女共同参画をとりまく状況”

“男女共同参画推進施策の平成 29 年度実施状況及び平成 30 年度実施計画”

“男女共同参画推進施策の計画関連指標”

■質問・意見

副会長	P2 女性の年齢階級別労働力率の推移が全国となっているが、富山市の推移を掲載してはどうか。
事務局	これまでは内閣府の資料から抜粋している。富山市の数値がわかれば掲載に向けて検討したい。
副会長	P6 附属機関への女性委員登用率をみると、女性がない附属機関が昨年より増加しているが、どうにか解消できないか。
事務局	女性委員がない附属機関が多いのは担当課としても悩ましい。 新たに委員を任用する時期に合わせて、担当課には女性の登用について進言しているが、委員として多く参加している各団体の会長職には男性が多く、また、専門的な組織になると女性がない機関も多くある。 こだわりを無くして、なるべく女性の参加が増えるよう引き続き取り組んでまいりたい。
副会長	今年度改訂を進めている、小学生の啓発冊子が完成したら拝見したい。
事務局	道徳が教科化され、前向きに啓発の冊子について取り組んでいる。出来上がったらまた皆様へお渡ししたいと考えている。
会 長	お迎え型を実施している施設は 1 つだが、実際の利用状況は？
関係課	病児・病後児保育を行う施設は 5 か所あり、お迎え型を実施している施設はまちなか総合ケアセンターの 1 か所である。 まちなか総合ケアセンターでは、平成 29 年度の病児・病後児保育の受け入れ実績は 820 人ほどであり、実際に職員がタクシーでお迎えに行き、かかりつけ医などの受診後、病児保育室で預かった実績は 7 件あった。
会 長	富山市女性活躍環境づくり推進助成金について、採択するにあたり女性管理職の割合を考慮しているか。
関係課	女性が働きやすい職場の環境づくりを観点としており、女性管理職の割合や女性の就業者数等に関しては、事業採択する際の条件としていない。
会 長	ひとり親お助け隊を周知する際の方法、手段は？
関係課	平成 29 年度よりひとり親アテンダントを配置し、さまざまな支援の情報提供や、要望に応じて手続きに付き添いが必要な場合は同行するなど、一人一人に寄り添ったサポートを行っている。 周知については、今年度に「ひとり親家庭応援ガイド」を作成し、市庁舎や行政サービスセンター、各地区センターなどに設置することとしており、このガイドにはひとり親お助け隊についても記載している。 平成 29 年度から始まったばかりの事業であることから、今後も機会をみつけて周知を図っていききたい。

委員	病児保育など、まちなか総合ケアセンターだけでは行き届いていない。 将来的には各地域に広がりを見せられるか？地域の人が安心して暮らせるようにしていただきたい。
関係課	体調不良時対応型病児保育事業を行っている保育所は増えてきている。 市としても補助金等で支援するなど、事業の推進に努めている状況である。 また、お迎え型については、全国でも先進的な取り組みであり推進していければと考えている。
委員	病児・病後児保育を実施している施設に預けている子供については、お迎え型保育を利用できないという話を聞いたことがあるが、それが事実なら改善していただきたい。
関係課	お迎え型については、体調不良児対応型病児保育を実施していない保育所に通う子供を対象としている。 体調不良児対応型病児保育を実施している保育所では、親が迎えに来るまで園で保育をしていることから、実施していない保育所を対象にお迎え型を利用している状況である。
委員	結婚未婚率の推移はどのように分析しているか。
事務局	明確な分析はしていないが、一般的には男女の考えが変わり、個別主義が流行ったためと言われていることから、自分の生活の優先、経済面などで躊躇してしまうという所があるのではないかと。
委員	街コンで結びついたカップルは何組くらいか。
事務局	県が実施するとやまマリッジサポートセンターにおいて、県下全域を対象に、結婚したい方のマッチングを行っていることから、市では直接、婚活事業を実施していないが、昨年からは、市民等と協働で実施する公募提案型協働事業により、呉羽地区における婚活イベントに支援したところである。 このイベントは、自分たちの地元を知ってもらい、結婚して住んでもらうことを目的に、呉羽地区で実施されたものであり、今年度は男女合わせて40名ほど参加し、5組のカップルができたところである。
委員	女性の活躍に向けた周知啓発で、各企業訪問をしているが、労働局と連携し、政策の周知にご協力いただければと思う。
関係課	周知については、ご依頼をいただければ市のホームページや広報とやまに掲載できるよう努めてまいりたい。
委員	中小企業の女性活躍推進が課題になっていることから、くるみん認定制度や、えるぼし認定制度の認知度を上げるために、企業訪問等での働きかけをお願いしたい。
関係課	大企業と中小企業では労働環境が大きく違っている。 企業訪問に持っていくパンフレットは、大企業に比べて、中小企業には数多く届けており、十分に宣伝は行っていると考えている。

委員	<p>小学校の現場では、ひとり親支援など大変ありがたいと感じているが、特に、学童保育の要望が大変多い状況の中、指導者が見つからず、児童の受け入れが難しい状況だと聞いている。</p> <p>啓発冊子については道徳科の実施ということもあり、人権も含めてすごく大事な教材なので有効に活用したいと考えている。</p> <p>今後は、50代の教員が大量退職となることから、若手の教員が多く採用されると思われる。そのため、小学校の現場では、女性教員が子どもを産み、育てやすい環境、また、男性教員の育児休暇の取得やその代替えとなる臨時の教員が必要となるなど、様々な問題に取り組まなければならない。また、家庭における介護の問題で、早期退職を考えている職員も増えるなど、これらの諸問題も含めて働きやすい環境づくりというのは何なのかということを学校現場では抱えている。これは学校だけでなく、社会全体の問題として見直していかなければいけないと思う。</p>
事務局	<p>教員の職場環境の改善に向けて、教育委員会において超過勤務時間を管理していると聞いている。</p> <p>延長保育や介護の問題は、先生方に限らず、社会で働く方々が抱えている問題であるため、市全体で応援していく体制を進めていかなければと思う。</p>
委員	母子・父子自立支援員の設置、ひとり親お助け隊関係は多少重なっているところがあるが、違いなどはあるのか？
関係課	<p>母子・父子自立支援についても、こども福祉課に相談員を配置し、色々な相談に応じている。</p> <p>先ほど申し上げた、ひとり親お助け隊と一緒に相談を受け付けているところであるが、ひとり親お助け隊については、例えば就職の関係でハローワーク等との間を繋ぐなど、他の色々な団体との間を取り持つことを主に行っており、場合によっては窓口と同行し、一緒に相談内容を聞き、必要があればお助け隊がフォローしている。</p> <p>そのほか、一般的な質問については支援員が相談を受けているが、件数については、各窓口で記録しているため、重複はしていない。</p>
委員	今年度中に予算を増額することは考えているのか？
関係課	<p>今のところ、今年度中に予算を増額することは考えていない。</p> <p>当面は、パンフレット等を配布するなど、広く周知に努めることとしている。</p> <p>人員を増員することも現在は考えていない。</p>
委員	DV被害相談や支援について相談に出向いた方がいた場合、女性相談センターでは、複数の部署から問い合わせを受けているが、市役所内では関係部署との連携をどのように行っているのか？
事務局	<p>毎年DV相談窓口連絡会議をしていて問題についての共有化を図るようにしているが、同一人物に対する支援がうまく機能していないかもしれない。</p> <p>相談を受けた課が連絡票を作成し、関係課に周知する方法を行っているが、十分に機能するよう反省を踏まえてやり方を考えていきたい。</p>
会長	その連絡票はいい取り組みだと思うので、ぜひ実行していただきたい。
副会長	<p>家事ダンマイスターはいい試みだと思う。</p> <p>去年と今年でリピーターは多かったのか？</p>
事務局	昨年度の参加者が、今年度も何名か申し込んでいたが、昨年度、「家事ダンマイスター」に認定された方はお断りしたところである。

委員	少子高齢化のこの時代では、子供が少なく、結婚しない人も多くいるが、市として今後未婚の方々にとどのようにアドバイスしていくつもりか。
事務局	市では直接、婚活事業を実施していないが、青少年の出会いの場を作るということで、とやま月イチ読学部や勤労青少年ホームの活動を行っている。若い方々が自然に出会える場を作ることに重点をおいて活動している。
委員	老後が心配。老人に対しての援助ができるような制度があればいいと思う。
会長	現在は、一人暮らしの老人、高齢者が非常に増えている。介護認定度が上がれば施設に入れるが、そうじゃない方で一人暮らしをしている場合も多い。そういう方々が自立して生きていくために、地域の居場所というものは大事である。今何か地域の居場所づくりなどというものはあるか。
事務局	民生委員の方が一人暮らし老人の見回りなどを行っている。災害時には要援護者というような形でリストアップし、その方たちの安否を確認するという取り組みも行っている。
会長	地域包括、介護、要介護、要支援になった人だけではなく、相談があった段階で人がどこにいるか把握しておくことが大事だと思う。
委員	市ではセクシャルハラスメント防止のために企業訪問、企業研修等で周知しているか？法務局では、セクハラ、パワハラ、マタハラ問題に講師を派遣しているので、周知をお願いしたい。
関係課	企業へのセクハラ、パワハラ防止について啓発することは必要と考えているが、市では企業研修は行っていない。企業訪問は行っているのですが、ご提案いただいたパンフレット等をいただければ、対応させていただく。
会長	県ではワンストップ支援センターという性暴力被害の相談窓口ができたが、基本的には性犯罪にあたるものしか取り扱ってくれない。セクハラは非常に大きな問題だが、おそらく窓口は法務局しかないと思われることが残念。各関係先が連携を取れるような形は必要だと思う。
委員	労働局の中でもセクハラ、マタハラ、パワハラ相談を受けており、残念ながら相談件数は年々増加している。ハラスメント対策で10月から12月までキャラバンで説明会や特別相談窓口を設ける計画を立てている。
会長	職場で声を上げることができない人たちばかりなので、その人権を守りながら擁護し、不当な扱いを受けないよう取り扱うことが大切だと思う。富山市は中小企業が多いので大企業と比べると逆に言いにくい雰囲気が特にあると思うのでぜひ取り組んでいただきたい。また気になるのは、DV被害の相談件数が減ったとあるが、あまり喜ばしいとは考えられない。相談件数が減っているというのは、逆に相談しにくいことがあったのではないかと、他で相談してカウントされていないことも考えられる。
事務局	昨年度とくらべDV相談件数は若干減っている。各担当課で相談窓口を持っているが、長寿福祉課では高齢者の相談件数が昨年度から増えており、また、警察からの通報なども増加している。逆にこども育成健康課のように、継続して相談していた方の状況が落ち着き、相談件数が減った例もある。
会長	相談件数が減っていても、重い内容の相談もあるので、細かい分析も見るといいのではないかと。